

茨城だより8 ー日立さくらまつり「日立風流物」ー

「茨城だより」シリーズは、昨年度の「並木ドリーム」からの続き物です。都道府県魅力度ランキング47位ながら、魅力いっぱいの茨城を、今年度も紹介していきます。

4月8日(土)、日立市の「日立さくらまつり」に行ってきました。今回、ユネスコの無形文化遺産に指定されている「日立風流物」をはじめて見学しました。

高さ15メートル、重量5トンの巨大な山車(だし)で、からくり人形が芝居をします。この山車は、現在、東町・北町・西町・本町の4台があり、そのうち1台が毎年4月の第2土曜・日曜に披露されます。今年は、西町の「風流忠臣蔵」でした。ちなみに、7年に一度4台が勢揃いするそうです。次回の勢揃いは、2年後の平成31年です。各人形が、上下回転して「武者の姿」から「踊り手」に「早返り」したので、驚きました。さらに、この「日立風流物」には、山車が回転し裏側にも舞台が登場するというクライマックスがあります。裏側の舞台の芝居は「風流自雷也」でした。

今回、関連イベントとして、福島県の「相馬野馬追(そうまのまおい)」の甲冑武者行列(10騎)がありました。来賓として茨城県知事橋本昌様もお見えでした。また、「日立さくら娘さん」も撮影させていただきました。2019年開催の「茨城国体」のマスコットキャラクター「いばラッキー」も来ていました。桜は満開まであと一息、天気は曇りでしたが、とてもいい一日でした。来年の「日立風流物」は、平成30年4月7日(土)・8日(日)です。伝統芸能を実際に見ることは、大切なことだと思います。

